

若し廣く稻扱を用ひしむれば全く此失を除くことを得へし。需要と價格とに依て生産を増加せしむることは既に日韓貿易の結果米穀現産約八百萬石と大豆約四百萬石との増産に其の影響を現せり。我國に於て彼の農産物を需要するは彼の國家民人に取て無上の幸福なりと云ふへし。

韓國の農事を彼韓人に放任せば結局何程の改良を爲し得るや其分量其時期今之を測るを得ず。余は日本農民の多數が直接彼地に農業を營み實際に方法を示して彼等を誘導するを以て最有力の手段なりと信す。韓國は清國と異なり其氣候其風景我國に同じく清國人に交りては到底棲住競争し難き我國人も貧弱懶惰なる韓民を率ふるには甚だ適當せり。

韓國には肥料として用ふべき大豆あり牛骨あり我農民が溜池を設け揚水器を設けし牛馬耕を行ふて經營するときは物産の増殖忽ちにして見るべきものあるに至るや疑なしと雖其着手の方法に於て直に支障を來すは現在居留地十韓里約我一里以内ならざれば土地を所有することを得ず又其以内若は停車場敷地内等にあらざれば居住の權利なきこと是なり。韓國は金利非常に高さにより地價從

て低廉にして居留地附近の耕地と雖坪八錢或は十二錢位内地は更に安く畑一反歩三圓下田十五圓位なりと云ひ未開地荒蕪地沈田浸水地旱地等の面積の大なるものは愈々安價なれば之に人工を施して經營するに最利あり。元來韓國は土地の賣買盛なる國なれば現今に於ても右の權利地の内外に於て或は土地を買ひ或は永代使用收益權を約し又は質流れの土地を有する日本人ありと雖畢竟姑息に止りて我農民及資本を招致するに足らず依て土地の問題に付ては韓國の利益の爲に更に地歩を進むることを望まざるべからず。

#### 第四節 模範農場

余は何等かの方法に依て韓國に模範農場の設營を見んことを冀望す。其位置は可成韓人去來の頻繁なる京釜鐵道線路附近に選定するを可なりとし他日尙各所に彼我の小模範場を設置すべし設置理由左の如し。

韓國産米は我國産米の中品に等としく能く之と共用するに足る然るに灌漑の法天水に一任して屢旱害に罹り又收穫調製宜しきを得ざるによりて收穫中多量の土砂を混ず。依て該國適當の地に模範農場を設置し貯水池を造り收穫方



法を現示して、我國米作の安全と改良とを促し、并に養蠶其他諸農作の模範を示し、日韓貿易の發達に益すべし。

韓國住民の職業として且國家の實力要素として第一に農業、農産物を押さざるべからざるに該國の農業は未開に、農産物は粗悪なり。畢竟天然に依頼して人工を加へざるに困るが故にして、將來物産改良増殖の餘地及び遺利に富むものと謂ふべし。

韓國農業の前途多望なる事情を約言すれば左の如し。

- (一) 未開地多し。韓國は人口比較的稀薄にして理論上、事實上未開地多し。
- (二) 現農業上改良の餘地多し。韓國の農法は尙撒播雜植の幼稚法を行ひ、灌溉排水共に人工を加ふること稀なり。

(三) 地味中等諸作に適す。

(四) 氣候乾燥且地勢傾斜にして蠶桑及び果樹にも適す。

(五) 風土事情我國と類似し、日本の農法及び農人は彼國の開發に適當せり。彼國の富源を開き、實力を養ひ、貿易力を加へ、我國と過不足相補ひ、鐵道其他諸般の

我經營を有利ならしむるは専ら農業を進捗せしむるにありて、模範農場の設置は其第一段なり。

### 第五節 人口及び農業見込地

余は最後に此最愉快なる問題を研究せんとす。韓國の人口に就ては區々の説あり。

韓國人口數表

政府の調査と稱するもの	推定
少く積りたる説	八、〇〇〇、〇〇〇
多く積りたる説	一六、〇〇〇、〇〇〇
推定	一三、〇〇〇、〇〇〇

右の如く種々の説ありて多くの人は千萬人前後ならんと言へるも余は之を千二百萬人と推定せり其面積八萬二千平方哩に對しては一平方哩百四十六人となる、清國の部に掲げたる各國の一平方哩人口表を参照すれば韓は葡萄牙の次に位して第十三番なり同じく東洋の舊國として日本は二百九十九人、清國は二百九十二人なるに、獨り朝鮮の人口斯の如く寡少なる所以は甚だ解し難しと雖、戦亂の瘡痕



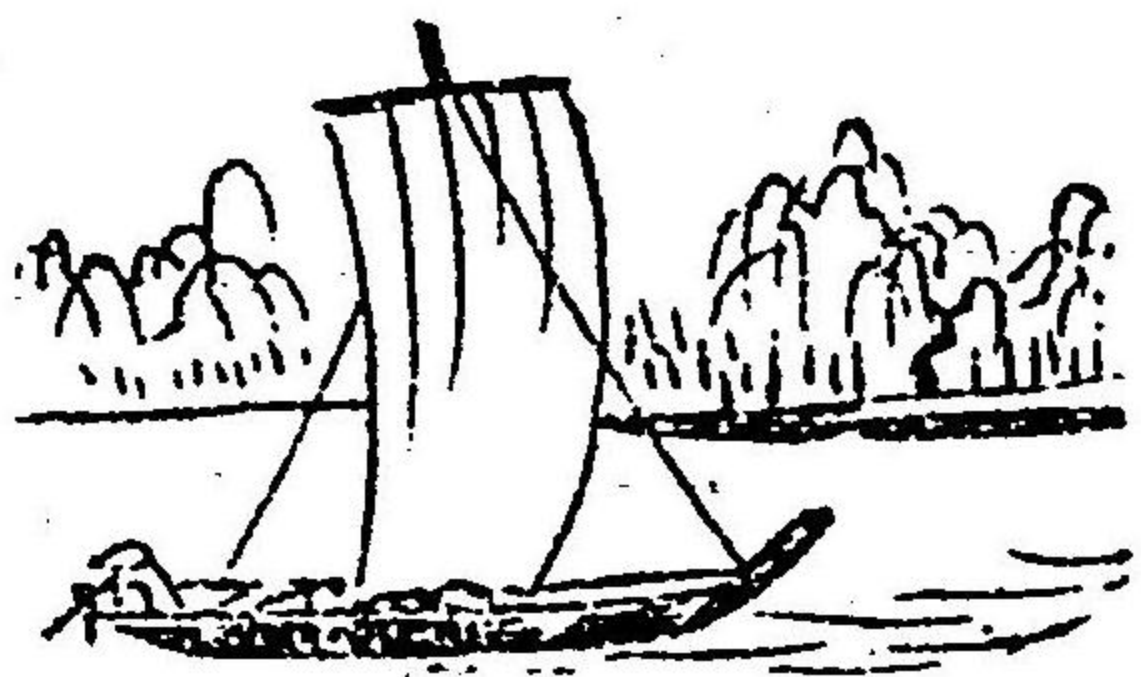
の瘴へさる政治の振はざる衛生の行はれざる身心の懦弱なる生存競争の困難なる等各種の原因綜合して人口の増殖を妨げたるに因るならん。然ども此人口の比較的稀薄なるこそ朝鮮の前途を多望ならしむる所以にして清國と異なりて未開地の尙多面積なることを推測せしむ。現に韓國に遺棄せられたる原野及び未開地の多きは總ての旅行者の明に認むる所にして僅に排水し又は既灌の便を起せば利用すべき良圃美田少からず。是余が經濟上に於て韓國に價値あるを唱導する所以なり

尙少しく詳細に涉らん余は清國の農地を推定せしと同一筆法に依り韓國の現在及び將來の農地を推定すること下の如し。韓國は其國人衣食住の需要極て單一低度なるにより一人對農地は最低かるべき理あるに加ふるに家畜を飼ふこと別に多からず地形は我國に類似して傾斜狹隘に富むが故にたとひ毎反收穫は農法の粗大なるがため低少なりとするも一人平均一反五畝を超へざるべしと思ふ。之を千二百萬人に乗すれば百八十八萬町歩となり總地積二千百四十一萬三千町歩の八分五厘となる。余は我國の純耕地一割三分なるに比して韓國の八分五厘は

其見當を誤らざるに近しと信し韓國人口千二百萬と見て先づ百八十萬町の現耕地ありとの説を探らんとす。而して將來利用すべき土地幾何なるやは其地勢大陸的の耕作を許さずと雖我國最近の調査可耕地は全國面積の二割六分なるに對照して少くとも韓國全面積の一割五分即ち三百二十一萬二千町歩迄は容易に耕作し得らるべしと信ず。去れば現耕百八十萬町歩を除き百四十一萬町歩の地は將來に之を利用するとを期すべしとし先づ其一半七十萬町歩を米作地として一反歩十五圓の收入ありとせば一億五百萬圓他の一半を畑地として一反歩八圓の收入と見積り五千六百萬圓合計一億六千百萬圓の農産となる豈多望ならずとせんや。而して此新開地百四十萬町歩は一人二反歩平均として能く七百萬人の各種人口を養ふべく其多分は日本の移民を以てするとせば則ち愈々兩國利害共通の實を擧ぐるに近し。若し夫れ結局は全地積の二割即ち四百二十萬町歩迄は耕し得べきこと造林の利益も亦大なるべきこと等は今は之を省くと雖地産的朝鮮大開發の目的を達するが爲に共に經營するを忘るべからざるは治水事業なり。韓國には水を吸收保持すべき天然の海樅樹ある山なく又大小の水流は少しく水勢



膨○脹○す○る○と○き○は○人○工○の○堤○防○な○き○田○圃○の○上○を○自○由○に○横○流○し○て○之○を○荒○廢○す○。○去○れ○は○開○墾○農○業○も○先○づ○其○比○較○的○安○全○な○る○所○よ○り○着○手○し○て○漸○次○造○林○除○水○設○備○堤○防○等○の○大○計○を○建○て○さ○る○へ○か○ら○さ○る○も○此○等○は○我○移○住○農○民○多○數○共○同○し○て○之○に○韓○民○を○加○へ○て○當○る○に○あ○ら○さ○れ○は○成○効○し○能○は○さ○る○こ○と○な○り○と○す○。



## 第十章 對韓方針

### 第一節 利害共通

我帝國は韓國の獨立の爲に血を流し財を費して大國と戰端を開き其結果幾分國光の揚るものありしと雖對外煩累と負擔とは之か爲に永久に増加せり。去れば我帝國は絶対に韓の獨立を確保して以て國は一貫の實を擧げさるへからすとして其の方法如何と云ふに日韓の利害をして事實上共通ならしむるの外はあらず。蓋し日清關係に在ては清國と外國との貿易上日本に超へたる有力の國あり對清兵備に於ても露の旅順大連及び滿州經營佛の南清經營獨の膠州灣の如きあり。又清國の政治上に於ても我權力は列國と異なるものあらず。然るに日韓關係は之と殊別にして歴史同種同文隣接等のことを外にして

- 一 貿易上に於て日本は各國に抽出せり。
- 一 兵備上に於て日本最優勝なり。

一 日本人は韓國の要地に居住し其人員各國に比して絶對多數なり(京城仁川木



浦釜山馬山鎮南浦元山平壤城津群山に在る者明治三十五年九月末二萬八千六百六十三人四千五百六十八戸なり

日本人の經營に最適當なり歐米諸國に取ては國防上の關係なく露のみは疆土を接するが故に關係ありと雖又經濟上に於て經營すべき價值と材料となし

斯の如く有形無形の密接なる關係あるが故に日本は韓國の利害を以て己れの利害とし韓の厄難は己れの厄難として之を救濟せざるべからず。先づ第一の要は物産の共通にありて其主要なる點は米穀を我に融通し其他食物及び原料を彼の有餘に取て以て彼の物産を奨め其購買力を増すべし。而して我よりは彼の需要する製作品を供給するにあり。既に斯の如き經濟上の共通を爲すとせば生産上に於て農業開發の利運輸上に於て鐵道汽船の權通商上に於て通信及び商港の便を有せざるべからざるは勿論遂には貨幣度量衡及び關稅の同盟にまで及ばざるべからざるは自然の理勢なり。教育に付ては我より朝鮮語を學ぶは或程度に止め彼國に日語學校を普設して日

語を授け普通教育に依て彼等の常識を發達せしむべし。蓋し韓人は日語の音調に熟し易く清人の日語を使ふは尙歐米人の日語を用ふるが如きも韓人の日語を談ずるは則ち日本人と變はらず言語の相通は利害共通と離るべからざる關係あり

### 第二節 陸運水運

余は清國の鐵道は各國の敷設權を得たる縱線の尙外幾多縱橫線の敷設すべきものあるべきことを言へり。韓國に在ては之と異なり或は馬山木浦鎮南浦元山等の港灣に達すべき支線も亦前途に於ては之を敷設するの利を見る時期あるべしと雖先づ釜山より京城京城より義州に至る所の縱貫線を以て動物の脊髓に譬ふべき唯一の主要線路なりと斷定せざるべからず。

水運に就ては日韓及び沿岸貿易に供すべき汽船を以て重要なものとす。既に韓國の輸出入貿易は我國之を專にし又永遠に專にせざるべからざる所なるにより鐵道と共に航海の全權を掌握するの必要あり。但し人工を加へざる狹隘の港灣を出入し又群島の危難あるにより敢て船舶の大なるものを以て之に充てんより



は寧ろ中なるもの、航海頻繁なるを要す。郵船會社商船會社は共に朝鮮海上の航海を爲し、殆ど全權を占有すと雖尙意を注て競争者を容るゝの罅隙を作らざることを望む。現今沿岸港灣間又は河江の往來に於て韓人の企業往々我と競争するものあるが如きは勿論恐るゝに足らずと雖、利害共通の國柄なるにより可成共同聯合の方法を採るを可とす。

### 第三節 鑛業、漁業及ひ工業

鑛業に就ては我調査に依り良鑛脈の發見せられて事業の之に伴ふことを希ふのみ、漁業も亦勇敢なる漁民の力に依らざれば發達せず、工業は韓國人の知らざる所なるは言ふ迄もなく到底工業國にあらず、其人民が能く工場に堪ふべき性質を有するや、或は手技に慣れ或は機械の下に働くべき智能を有するや、疑問に屬し、未だ其適否を證明すべき實驗なしと雖、其習慣服裝其行爲等に依て察するときは遠く清國労働者に及ばざるべきなり。若し韓國に於て試むべき工業ありとせば韓國の需要に適當すべき綿絲、麻絲並に綿布、麻布の紡織業を第一とすべし。其他は大豆、菜種、棉實、胡麻、在の搾油業、酒及葡萄酒の醸造、精米業等なるへし。

### 第四節 商業

韓國は貧國なり、韓民は一年の計あるのみにした貯蓄なし。去れは韓國商業の消長は一に農産の豊凶及び輸出の多寡に依るものにして、豊作にして輸出多ければ其當年は又之に對する需要と輸入とあり、否らざれば購買力なきが故に隨て輸入なし。之を一言すれば農業附帶の商業なり。夫れ朝鮮の農産輸出品は我殆ど其全部を輸入し、從て商權を我手に有するは固と當然の事なりと雖、其買入方法に付ては我商人全然一致の態度を缺き、各自孤立し競ふて買入を爲すにより相當の利益をも得ること能はず、頗る不體裁を極む。又我國が彼の農産物を買ふによりて生ずる所の購買力の利用に付ては暫時も心を安んずべからざるものあり。先づ第一の需要品たる綿絲、綿布に付ては米國、印度等の有力なる競争あり、麻布は殆んど清國の専有に歸し、雜貨は多く我國の生産品に屬すと雖、清人は動もすれば其商權を蹂躪せんとす。此競争に對し能く永久に優勝の地位を保たんとせば一方には我國に於ける韓國需要品の製作上適當と堅牢と廉價とに注意し、一方には韓國諸商市に於ける我商人をして一致團結其日本よりの仕入上手數と費用とを減じ、品



百九十二

質を適良ならしめ之を韓國に販賣するに於ても相約して相當の價格を保ち且内地に行商を配置して以て販路を擴張するにありとす。此目的を達するに付て缺くべからざる手段は領事の監督の下に仕入販賣行商購買等に關する組合を結ばしめ産業組合法参照而して此組合に對して金融機關をして貸資せしむるに在り。斯の如くなれば組合に入りたる商人は低利の資本に依て廉價敏速に適良品の共同仕人を爲し又之を販賣するに於て相競ふて價格を低減する虞なく穀物の購買に付ても價格を競り上げて見す見す各自の不利を醸すの愚を絶つことを得べし之に依て確實なる商業を營み外國商人の競争を凌ぎ得るときは組合に入り得ざる小商人もぐり商人等の滅亡は却て喜ぶべく憂ふるに足らざるなり蓋し朝鮮の實力養成は多數の勤勉なる我農民と少數の確實なる我商人とに依て之を經營すること當に物質上の利益の上のみならず彼我の交情並に東洋の平和に於て又最得策なりとす。

日清韓實業論 大尾

明治三十六年五月一日印刷  
 明治三十六年五月四日發行

日清韓實業論 附

正價卅五錢



著作者 酒 匂 常 明

發行者 增 田 義 一

印刷者 佐 久 間 衡 治

印刷所 株式會社 英 舍

東京市麴町區有樂町三丁目一番地

發兌元

(電話本局 五百十四番)

實業之日本社

大賣捌所

東京堂 東海堂 北隆館 上田屋 良明堂



米國富豪カーチス子ギー翁著  
日本男爵岩崎彌之助君序

伊藤重治郎君譯 (八版)

近世の名著

# 富の福音

口繪原著者肖像挿入  
全一冊 大本  
正價四拾錢  
郵税八錢(切手一割増)

## ◎本大綱目書

緒言(自叙傳)◎第一章富の運用法◎第二章富の最上用法◎第三章富の福音と世の謬見◎第四章貧賤の利益◎第五章文明進歩は實業經營の趨勢◎第六章トラスト論◎第七章使用人待遇法◎第八章同盟罷工と工場管理法◎第九章米國の帝國主義

本書は米國實業界の覇王カーチス氏が全腹の精神を傾倒して滿天下の青年、學者、貧者、富者、實業家、資本家、勞働者其他社會各級に向て教訓を垂れ猛省を促さんと欲して述作したるもの、且つ附する自叙傳を以て滿身の心血悉く濺で此一書に在り。眞に是れ天來の福音不朽の大作と謂ふべし。一たび巻を繰れば一字一金、一句一玉の文字、而して彼の面目、理想、主義、人生觀に至る迄悉く眼前に活潑して紙上聲あるを覺ゆ。苟も當世に志ある者は須からく本書を讀め。

發兌元

東京麴町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社

東京高等商業學校教授  
商業教員養成所

佐野善作先生序  
村瀨玄君共著  
竹内正太郎君共著

新刊  
報告

# 最新商業簿記

全一冊  
正價參拾錢  
郵税四錢

商業簿記に關する著者少ならずと雖も繁簡精粗宜しきを得ず。加ふるに何れも獨習に不便にして且つ應用に困難なるが如し。本書は此欠點を補はんが爲めに著者多年の研究と實地教授の經驗とによりて新に簡便なる方法を案出したる良著也。何人と雖も一讀直に了解するを得べく、且つ實地應用には極めて適切なるべし。若し夫れ本書の特色に至ては請ふ左の數項に徴せられんとを。  
(一) 説明の順序方法教授の原則に従ひ易より難に入り極めて開發的なること  
(二) 復式簿記を學ぶ者の最も困難を感ずる彼の貸借仕譯を極めて崭新なる著者獨特の立案により最も易く説明したること  
(三) 各章の終りに應用問題を設け學習者練習の用に供せるを以て獨習者の參考書としては極めて便利なること  
(四) 體裁は全文悉く横書となし書中所々に挿入せる帳簿雛形と相伴なはしめたること  
故に各種商業學校及商業補習學校の教科書としては最良のものなるを確信す。幸に一本を購ふて本書の價值を知られんとを望む。

發兌元

東京麴町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社



東京法科大學教授  
東京高等商業學校々長

法學博士 松崎藏之助先生序  
法學士 守屋源次郎君新著

# 新刊 獨逸社會史 報告

本書は社會政策の史的・研究的結果に成れるものにして社會改良の嚆矢甚だ急調なる今日に當り、彼の社會政策の最も秩序的に最も學理的に發展しつゝある獨逸帝國の新思潮の進運を概説し、且つ附するに一般社會改良の方策を以てす。其文章の流麗明快なる其字句の沈痛剴切なる實に詩人佳句を誦するの感あらしむ。松崎博士序して曰く「獨逸に於ける社會問題の歴史を叙し精しく社會經濟思想の變轉を明かにして吾人が他山の石とせらる。萬腔の熱情と雄壯清麗の美文と句々脈動し、激しきは急湍となり、奔逸しては江河となり、波濤踊躍して則ち暴海に似たり。一たび巻を開かば誰か之を閉づるに忍びんや」と。能く本書の性質を説明したるものと謂ふべし。苟も社會政策を研究する者は勿論、經世の志ある者は須からく一讀せんことを。

發兌元 東京麴町區有樂町三丁目一番地 實業之日本社

全一冊美本 洋裝金  
正價四拾錢 文字入  
郵稅六錢  
本書讀者は遞送無料

農學士 恩田鐵彌君 共著  
農事試驗場技師 矢田貞吉君

# 新刊 實用栽培論 報告

農界多事、幾多の改良施設を加ふべきもの擧げて數ふべからず、中に就き最も緊急にして且つ最も行ふに易きを作物栽培の改良法となす、事は農民の常職にして益や殆んど測るべからざるものあり、著者茲に見る所ありて本書を新刊す、總論に於て耕種一般の理論を説明し、各論に於て六十餘種の作物に就き土地氣候との關係、種類の選擇、栽培法、肥料、收穫、病蟲害等を詳密に説述したり其説く所は通俗簡易好く當業者の講究に適せんを期したりと雖も其内容は即ち日新の學理に基き實驗の結果に徴したるもの、其極めて實際に適切なるは本書の一大特色と謂ふべし、苟くも新文明の有利的農法を行はんとするものは須からく一讀すべく、農學生農事講習生等は是非一本を備へざる可からず

(新刊)

全壹冊大本  
正價上製七拾五錢  
並製六拾錢  
◎本書愛讀者は無送料

發兌元

東京麴町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社



米國富豪カー子ギー翁著  
日本男爵澁澤榮一先生序

小池靖一君譯 (十四版)

絶好の快書

# 實業の帝國

◎全壹册美本  
◎正價卅五錢  
◎郵送料六錢  
◎本書讀者に限り全國無遞送料

附録 カー子ギー翁評傳

◎同翁肖像挿入

## ◎本大綱目

第一章 實業成功の途 第二章 人生と勤儉 第三章 資  
本と勞働の共同利益 第四章 致富の途 第五章 富及其  
使用法 第六章 實業とは何ぞや 第七章 實業の鼎盛  
赤手を以て十億圓の富を作り、鋼鐵大王として雷名を世界に轟かせる米國の富豪カー子ギー氏は  
「實業の帝國」と題する一書を著述して之を世に公にするや、喝采雷の如く熾んに歐米人士の間  
愛讀せらるゝに至れり。本書は則ち其精髓を翻譯せるもの、議論嶄然として意表に出で着想奇抜に  
して見識非凡、而も其意氣颯爽として高風の飲すべきもの書外に溢る。一たび之を讀めば心胸豁然と  
して身は偉人と相語るの感あるべし。若し夫れ著者が自己の經驗に徴して成功の秘訣致富の要道と  
説くに至ては一讀釋然として首肯するものあらん。實に近世絶好の快著也。青年學生は勿論、實業  
家となく、政治家となく、將た軍人となく、官吏となく教育家となく醫者となく何人と雖も速に一  
讀せんとを乞ふ。

發兌元

東京麹町區有樂町  
三丁目一番地

實業之日本社

東京高等商  
業學校教授

東夷五郎先生校閱  
野原徹輔君著述

(再版)

家庭  
必携  
良書

# 實業家計簿記

◎全壹册美本  
◎正價參拾錢  
◎郵送料四錢  
◎本書の廣告に依る注文は全國無遞送料

近時簿記に關する著書頗る多しと雖も多くは商事に關するもの、みにて、未  
だ一家收支の狀態を明瞭に記録し以て家計の整理に資すべき良著之れなし。未  
本書は則ち此缺點を補はんが爲めに著者はせる者にして、最も簡易明瞭に説明  
し、婦女子と雖も容易に了解するを得せしむ。殊に著者は嘗て知人某の家計  
改革に際し家計簿記の編成を托せられ、之が求に應じて意外の好果を收めた  
るもの、今や之を補綴して世に公にす。其實際に適切なるは疑ふべくもあら  
ず。惟ふに家政を整頓して家事經濟の健全を圖るには收支の帳簿を明確にす  
るより急要なるはなし。苟も家を治め産を興さんと欲する者は須からず本書  
を一讀して速に之を應用せんとす。

發兌元

東京麹町區有樂  
町三丁目一番地

實業之日本社



桑谷克堂著

# 珍書成多富豪の面影

○定價金五拾錢  
○遞送料金六錢  
○口繪に富豪の肖像挿入  
○本書愛讀者に限り無遞送料

## ◎目次

東の金傑：岩崎彌太郎同彌之助◎青淵先生：澁澤榮一◎勤儉堂松翁：古河市兵衛◎天下の雨：安田善次郎◎關西の怪星：藤田傳三郎◎嶺山大王：淺野總一郎◎商界の健兒：大倉喜八郎◎商界の健兒：淺野總一郎◎商界の健兒：大倉喜八郎◎高田慎藏◎煙草大王：村井吉兵衛◎奇傑：今村清之助◎貿易界の泰斗：高田慎藏◎煙草大王：村井吉兵衛

當代の富豪なる者は如何にして成功せし乎。彼等の眞面目は如何。彼等の短所は如何。是れ何人も知平。彼等の平素は如何。彼等は果して如何なる長所を有する乎。彼等の短所は如何。或は裸粋の側面より或は其事業より、或は其平生より、或は其處世觀より、或は其立脚地より、縱横無盡に解剖して思憚なく描寫論評する所、麻姑痒を搔くの感あらしむ。殊に觀察截利深刻、文章雄健奇拔、一讀卷を掩ふに忍びず。苟も當代富豪の眞面目と其成功したる秘訣とを知らんと欲せば、須らく本書を讀め。既成の人には唯一の良友たるべく、後進の者には好箇の龜鑑たるべし。

發行所

東京市麴町區有樂町  
三丁目一番地

實業之日本社

金満商業學校教諭

土屋長吉君新著 (三版)

◎本書の廣告に基く注  
文は全國無遞送料

學理  
實務  
兼備

# 最新商業要綱

◎全壹册 大四百五十頁  
◎正價 上製八拾五錢  
並製七拾錢  
◎郵稅 各拾錢

## ◎本書大綱目

第一編 汎論 商業及商品の意義◎商業種別◎商人◎商業使用人◎會社◎商業資本◎賣買◎物價の高低◎貨幣紙幣及利子◎手形及小切手◎商業の管理  
第二編 各論 銀行業◎倉庫業◎鐵道業◎海運業◎保險業◎商業機關 (商業會議所◎取引所◎税關◎保稅倉庫)

◎本書は著者多年の調査研究と實地教授より得たる智識とを以て著はせるもの。先づ其汎論には商業全般に關する事項を解説して商業經濟の理義を明かにし次に各論には各種の商業に就て其經營法より實務執掌の手續に至る迄詳細に説明して漏す所なし。其材料の豐富文章の流麗なるは固より理論の最新にして且つ實務の應用を指示したるは本書の一大特色なり。殊に卷中實物を摸擬せし手形、證券其他一切の書式雛形を挿入して一々之を説明したれば極めて便利なるべし。苟も文明の商人たらんと欲する者は勿論、銀行會社員、商業學生並に商業經濟に志ある者は請ふ速に一本を座右に備へんとを。

發行所

東京麴町區有樂町  
三丁目一番地

實業之日本社



法科大學教授 法學博士松波仁一郎先生序  
在大學院 信用政策專攻 法學士田代 循君著

●好評●  
●噴々●

# 銀行及外國為替論

大本全壹册 四頁  
定價 上製 九拾錢  
並製 七拾錢  
全國無遞送料

著者銀行界の近時に深く感ずる所あり慨然として本書を公にす則ち深奥なる銀行の原理を精密に解説し、複雑なる實務の應用を詳細に指示し、以て理論と實際との調和を計り、且つ本邦銀行界 銀行史 を挿みて維新以來我國に於ける時弊を指摘して縱横之を論斷し又 各種銀行の發達を知らしめ、邦人の誤解せる信託業務を正解し、法理上の性質を熟知せざる荷爲替を解く等材料の嶄新豊富にして結構の整備せる坊間幾百の銀行書と到底同日の談に非ず。殊に解し難き外國爲替を平易明瞭に説明するに至ては他に比類を見ず。實に近來の好著也。當業者は固より實業政治家學生諸君其他苟も當世に志ある者は是非一本を座右に備へざるべからず。

發行所

東京麹町區有樂町  
三丁目一番地

實業之日本社

在大學院 法學士 島村孝三郎君著

# 最新經濟學

(再版)

全壹册 大版紙數五百頁  
定價 上製 壹圓拾錢  
並製 九拾錢  
◎全國無遞送料

●本書に三大特色あり曰く學理の最新最近なるにあり。曰く材料の該博豊富なるにあり。曰く文章の流麗明快なるにあり。彼の世上に流布せる舊派偏僻の學說を祖述して行文乾燥無味なる經濟書と大に其撰を異にせり。一たび此書を繙かば經濟學の全般に通曉するを得べく他經濟書の數十卷を讀むに優るべし。殊に從來紛々なる經濟上の疑問を解説したるを以て實業政治家の好顧問たるは勿論受験學生の爲めには虎の巻の一軸と謂ふべく實に經濟書中の白眉と稱すべし。

發行所

東京麹町區有樂町  
三丁目一番地

實業之日本社

(電話本局五百十四番)



◎荻齋居士序 蝴蝶庵主人著

元氣鼓吹 快書

# 實業家の奇蹟

全壹册 大版紙數 四百五十頁 美本  
正價金 七拾錢  
特別 郵稅共六拾錢  
減價 (郵券代川不苦)

「天下の糸平」と「伊藤八兵衛」とは人も知つたる快男子。正に一對の實業界大立者。一代の行動一生の狂言、奇絶快絶、孰れか讀者の意想外ならざらんや。糸平、産は信州の山國人、幾度び失敗の鎗玉に揚がるも満身渾て是れ膽、愕かず怯るまじ父には期當、兄には見放され、果ては女房子供を振捨て、漂浪數年、一度ひ横濱貿易の舞臺に飛上るや、好運の雲低く、出世の翼風を孕みて忽ち糸屋の平さん糸平さんとなり、順々拍子の金儲け、終に天下の糸平の名乗を揚げ、死して木母寺々畔一十餘回の聲入を爲す、奇ならずや、妙ならずや、最後に伊藤家の養子となり、縦横の才養家を挽大石碑川水く不言の履歴を語りぬ。偕又伊藤八兵衛は川越在實屋の總領江戸に出て縁家を辿り前後回し、必生の智古證文を活かす、經濟利達の眼明るく、戀ては功名成て水戸家勘定奉行となり、富貴來つて油堀の大旦那となるは物も美事の出世と謂ふべし而かも晩年紀文大盡の概あるに至ては頗る奇。本書は此の兩個奇傑を捉へて人物の描寫に一種痛快の筆を用ゐ、快男子奇男子活躍讀者に迫る。其面白きと小説に優る。又是れ近時の快書にして實に元氣鼓吹の妙藥也。

發行所

東京麹町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社 (電話本五二四)

◎珍書◎

# 實業家人物評論

全一册 クロース  
金文字入美本  
特別 金四十錢  
減價 (全國無遞送料)  
郵券代用不苦

口繪には書中に評論せる人物の肖像(寫眞銅版)を挿入す

書中評論の人物

- ◎岩崎彌之助◎◎澁澤榮一◎◎安田善次郎◎◎藤山傳三郎◎◎廣瀨幸平◎◎大倉喜八郎◎
- ◎松本重太郎◎◎淺野總一郎◎◎益田孝◎◎中上川彦次郎◎◎山本達雄◎◎莊田平五郎◎◎雨宮敬次郎◎◎大谷嘉兵衛◎◎古河市兵衛◎◎高島嘉右衛門◎◎渡邊治右衛門◎◎加藤正義◎
- ◎高橋是清◎◎高橋新吉◎◎米倉一平◎◎原六郎◎◎池田謙三◎◎馬越恭平◎◎阿部泰造◎◎阿部彦太郎◎◎牟田口元學◎◎外山修造◎◎中橋徳五郎◎◎諸戸清六◎◎今村清之助◎◎加東徳三◎◎平沼專三◎◎諸氏卅餘名

本書論評する所の實業家卅餘名、皆是れ當代實業界の樞機を握れるもの、其性格各人各色、出身の途、出世の緒、固より相異なるを以て既に人物に於て面白からざるを得ず而かも一技の筆此人物を促へ來て其性格を察し其行動を觀、其進退を説き其面目を描く、觀察の精、描寫の密、流麗の文を以て評し去り論じ、其來る所眞に快絶痛絶、所載の人物紙上に躍如として恰も目前其人に接するの感あり一度此書を手にはせば遂に夜を徹するに至る實に近來の珍書也

發行所

東京麹町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社



實業雜誌の鼻祖

# 實業之日本

材料豊富 趣味饒多

「實業之日本」は發行以來意匠斬新にして趣味と實益とを兼備せる本邦唯一の實業雜誌として、江湖より非常の歡迎を受けたるは竊に榮とする所也。依て今回更に材料を豊富にし記事を精撰し、以て世上の厚意に酬みんとす。幸に愛讀あらんとす。

◎表 ◎日 ◎社 ◎論 ◎資 ◎實

**紙** 比較地圖及び圖表は毎號變改して日本府縣并に世界各國の實業經濟の發達趨勢を審かならしむ、是れ本誌獨特の新款也。  
**繪** 精巧なる寫眞銅版を以て内外知名の實業諸大家の肖像を掲ぐ、莊重にして清淡親しく其人の風采に接するの感あらしむ。  
**說** 經濟財政に關する本社の見解を發表し、侃々の議譚々の論偏せず黨せず實業界として適歸する所を知らしむ。  
**說** 經濟財政に老練なる諸名士及び農工業に精通せる諸大家の見解を紹介し、以て學理を闡明し實際の運用に資す。  
**料** 廣く實業上の事項を調査し内外實業の發達及び趨勢を比較論評す、調査精確表紙と相俟て完璧となす真に天下の逸品。  
**務** 銀行會社及商店工場等の經營法を始め農工商に關する實務執筆の方法を説き、以て彼の理論に耽り實際に迂なるを避け事に當て遺漏なきを期せしむ。

◎翻 ◎傳 ◎逸 ◎家 ◎人 ◎經 ◎成 ◎功 ◎新 ◎雜 ◎誌 ◎定

**譯記話庭談** 歐米各國經濟大家の名論卓説を譯したるもの、坐ながらにして能く海外名家の新説を知るを得べし。著實老練なるは以て青年の模範とするに足り、内外實業家の詳傳を掲ぐ、實業界諸名士の珍談奇聞を掲ぐ、文辭輕快愈々出て、愈々妙覺へず願を解當代實業家の家庭を描出して縱横餘蘊なし、富豪平生の動作及致富の由來を知らしむ、眞個青年の活潑範。其の真相を論評す、人物の性格紙上に如たり、筆鋒銳利にして觀察公平。  
**評** 親しく實業大家に就て其經歷を速記したるもの、記事精確以て一部の實業史たるべく波瀾重疊以て一篇の活小説たるべし。記事精確以て一部の實業を希望する者の参考に供せんとす、成功の秘訣説き盡し論じ去て餘蘊なからしめんとす。  
**菜** 農工商に關する諸大家の執筆に係るもの、長篇短作苟も實業に裨益するもの、經濟財政に關する内外諸般の事實を網羅して餘す所なし。報道正確簡潔明快、面からも能く他の日保存に適す。材料を掲載し「大觀」は實業界の裏面を披露するもの、一讀三嘆の價値あるべし。  
**報** 快、面からも能く他の日保存に適す。材料を掲載し「大觀」は實業界の裏面を披露するもの、一讀三嘆の價値あるべし。  
**錄** 快、面からも能く他の日保存に適す。材料を掲載し「大觀」は實業界の裏面を披露するもの、一讀三嘆の價値あるべし。  
**定** 每月二回一日、十五日發行、一冊郵稅共十二錢、十二冊(半年分)一圓卅五錢、廿四冊(一年分)二圓六拾錢、郵券代用一割増。  
東京麹町區有樂町三丁目一番地

發行所

電話本局 五百十四番

## 實業之日本社



珍書  
五版

實業家奇聞錄

◎全壹册美本  
特別減價  
郵稅共廿五錢  
郵券代用不苦

本書集むる所の奇聞二百有餘皆是れ現代實業家（八十餘名）の快談珍説  
奇聞妙話にして滑稽洒落の奇機警豪放の快零丁困頓の厄勤勉力行の  
美悉く網羅して又遺す所なし以て驚くべく以て笑ふべし若し夫れ行文  
の妙に至ては縦横輕快恍として其人を想見せしむ枕上之を誦し燈下之  
を讀むに卷を掩ふに忍びず蓋し羈旅の好侶徒然の良友眞に天下の珍本  
也初版再版三版忽ち賣盡し今回四版出來せり

發行所

東京麹町區有樂町三丁目一番地

實業之日本社



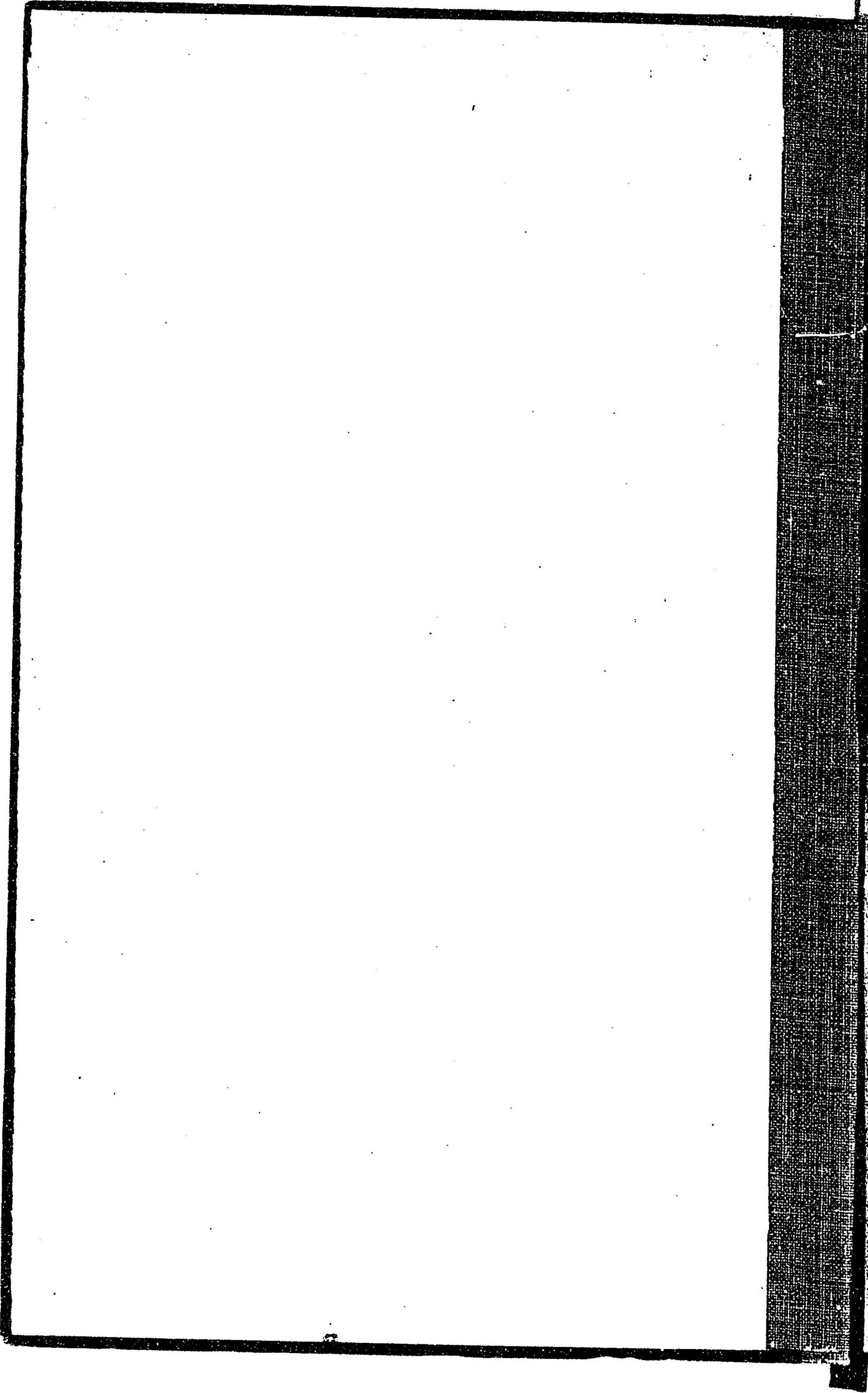
Q. 18323



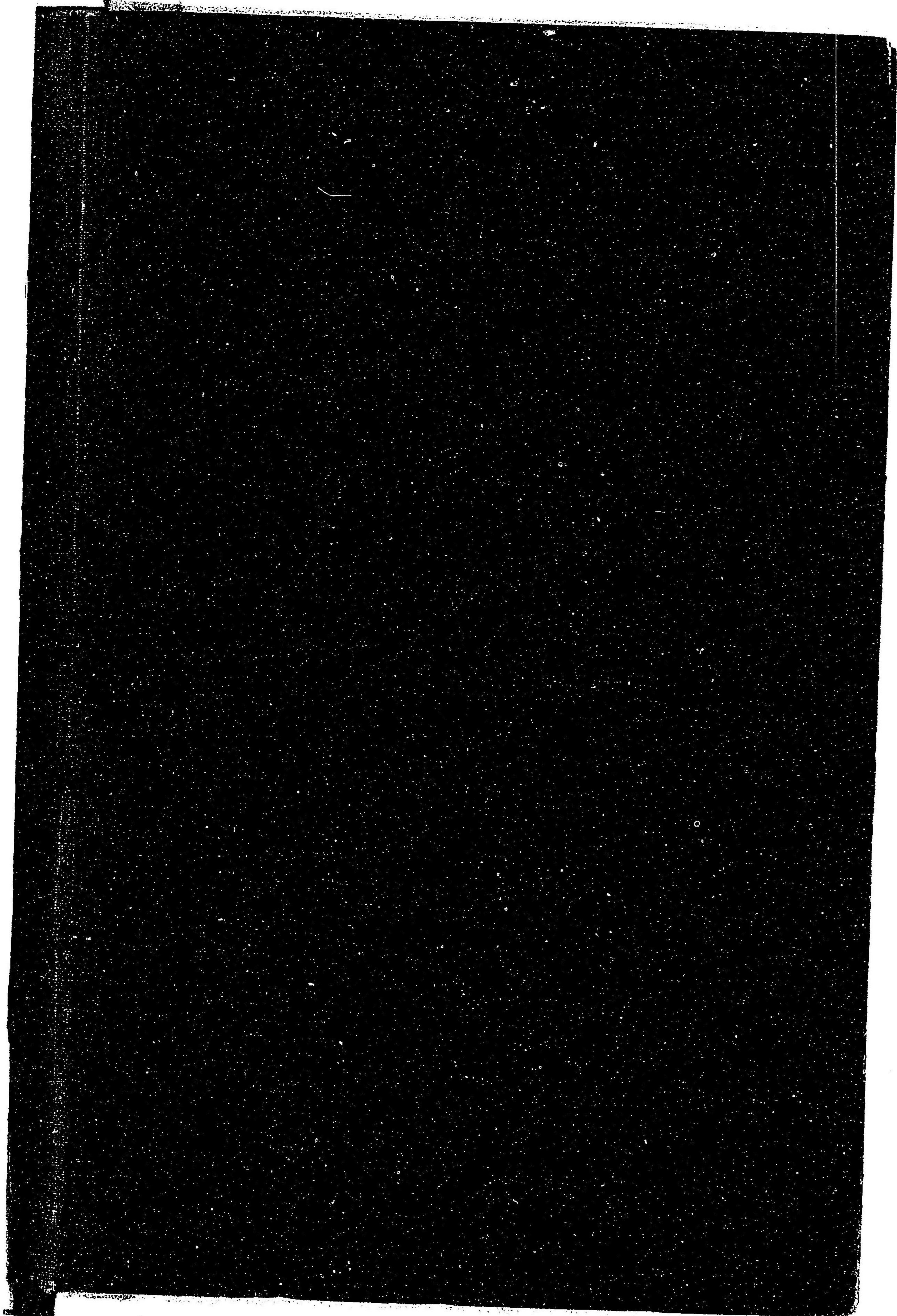
GANNAN SHOTEN  
店重宝商殿













604  
Sa523n

042033-000-3

604-Sa523n

日清韓實業論

酒匂 常明/著

M36

BDI-0819

